

所属学部/研究科	理学部
所属学科または専攻	生命科学科
学年	3年生
留学開始時の学年	2年生
留学先大学	国立台湾大学（台湾）
留学先所属学部/研究科	生命科学院生命科学系
留学開始日	2024-02-09
留学終了日	2024-12
1. 留学先の国、大学を選んだ理由を教えてください。	中国語と英語を学びたいと考えたため。また、台湾大学は生命および医学系の研究が進んでいるため、台湾最高学府の大学である台湾大学で学ぶことで、新たに得られることや、将来に生かすことができることが学べると考えたため。
2. 交換留学の選考を受けるまでに語学対策等準備したことを教えてください。	中国語で講義を受けたかったため、HSK5級の資格を取っておいた。
1. ビザの種類	留学ビザ（在留ビザ）
2. ビザ申請のための必要書類（在学証明書、預金残高証明書等）	在学証明書、入学許可証、パスポートのコピー、オンライン申請した書類、証明写真（背景は白）、健康診断書類など
3. ビザの申請手順と申請場所（機関名、都市）	台北駐大阪経済文化弁事処（大阪・肥後橋）
4. 面接の有無	なし
5. ビザ発行までの日数	1－2週間程度
6. ビザ申請で問題になったこと、注意点があれば教えてください。	オンライン申請であることを知らず、一度突き返された。また、空いている時間は平日の午前中だけなので、必要書類を調べて早く準備していく必要がある。突き返されることもあるため、余裕をもっていく必要がある。
7. 荷物を別送しましたか？	いいえ
8. 別送した場合は、発送方法と費用、受け取りまでの日数を教えてください。	
9. 荷物を別送する際の注意点があれば、教えてください。	
10-1. 日本から持参してよかったもの	特にないが、自分が使い慣れている日本産のものは持って行った方がいいと思う。台湾では、日本のものも多く売られているが、どれも割高なのでとても高くつくので。
10-2. 日本から持参する必要がなかったもの	特になし。
11. その他、渡航までに行った準備や手続きがあれば教えてください。（予防接種、健康診断、携帯電話等）	健康診断
1. 利用フライト	直行便
2. 航空会社・往路便名	JAL
3. 現地空港到着時間	朝（6：00～8：00）

3. 入国時、持参した現金額	10万円以上
4-1. 日本から持参したカード	クレジットカード
4-2. カードの内訳	クレジットカード(VISA)一枚
5-1. 主に利用した支払い手段	現金
5-2. 最も利用した支払い手段	現金
6. お金の持参方法や、支払い手段、管理等のアドバイスがあればお願いします。	日本よりキャッシュレス化が進んでおり、大体がスマホで支払っていた。LINE Payを使っている人が多かった。しかし、現金の人も多く、夜市などでは現金を普通用いるので、現金を持ち歩いていれば大丈夫だと思う。
7. 学内施設（生活関連施設）	ATM 郵便局 コンビニ ジム 病院
8-1. 渡航先での携帯電話使用について	日本から持参したものを使用（現地のSIMを利用）
8-2. 渡航先での携帯電話・インターネット使用について特記事項があれば記入してください	SIMはほとんどWifi使い放題なので、ストレスフリーで利用できた。
1. 留学先の大学、学部等の特徴や雰囲気について	最高学府の大学ということもあり、自習室や図書館は常に学生で埋まっていた。また、サークルも活発に活動しており、外は賑やかな雰囲気であった。生命科学部については、10階以上ある建物が生命科学部のビルであり、下の階は授業の教室、上の階は研究室となっている。大体このビル内での移動なので、移動は比較的楽であった。お昼時には、外の食堂にひとが多くいるので、早めに行くか外で食べるかした方がよい。
2-1. オリエンテーションの有無	有
2-2. オリエンテーションの参加	必須
2-3. オリエンテーションの内容	留学中に注意することや、大学内の設備の説明、中国語のプレースメントテストについてなどの説明。
3-1. 履修登録のタイミング	出発前
3-2. 登録方法について	大学ホームページで登録
4-1. 授業について	1コマの時間: 50分 1週間の授業コマ数: 30-35
4-2. 授業を理解して受けるための努力や工夫したこと	授業はすべて中国語で、教科書は英語だったので、最初は授業を受けるのも一苦労だった。そこで、先生に許可を取って授業の録音をし、家で聞き直して復習していた。また、学んだ内容はその日のうちに理解することに努めた。
4-3. 授業の登録や、受講するうえでアドバイスがあれば教えてください。	あまり詰め込みすぎない方がよい。
5. 学修面で受けられるサポートと利用状況	特になし。
1. 留学先でどのように現地の学生や留学生と交流を深めましたか？	実験のペアになったり、中国語のクラスで話すことで仲良くなった。
2. クラブ活動や地域の活動、ボランティアなどに参加した人はその内容を教えてください。	
3. 週末や休暇の期間はどのように過ごしましたか？	近くのコーヒーショップに行って授業の復習、または、動物園などに遊びに行ったりしていた。

7. 出発前に県大や留学先から提供してほしい情報があれば、教えてください。	単位認定される科目について
1-1. 卒業予定年月	2026年3月
1-2. 卒業・修了が遅れる見込みの場合、その理由と卒業（修了）までの予定を教えてください。	
2. 今後の目標、進路について教えてください。（留学前後で目標進路が変わった場合は、それも含めて書いてください）	もともとは、法医学者になりたいくて、医学部の編入試験を受けて医学部に入るつもりであったが、交換留学を経て、生命系でも法医学に携わることのできる職業があるし、何より新しいことを発見したり、コツコツ研究をするのも楽しいと気づいたため、現在は科捜研に入ろうと考えている。大学院については、台湾大学にもう一度行ってみたいと考えているが、今のところ未定。
3. 留學生活の感想と、留学前と比べて考え方や意識の変化があれば教えてください。	
4. 次に留学する人へのメッセージ	留学では、周りに頼れる人が少なく、辛いことの方が多いかもしれません。ですが、どうにでもなれ精神で色々やってみると、意外となんとかなりまし、学べることや将来に生かせることなどが得られます。もし、留学しようか迷っている人がいれば、勇気を出して行ってみたい国に留学してみることをオススメします。

交換留学 帰国後報告書 (2)

交換留学中の学修記録

記入年月日	2025/1/20		
学部・研究科/学年	理学部生命科学科	3年	留学開始時 2年
留学先大学	国立台湾大学		
留学先所属学部・研究科	生命科學院生命科學系	☐ 特定の学部等に所属しなかった	
留学期間	2024年2月9日～2025年1月5日		

単位について

留学先で取得した単位数合計	35 単位
本学で認定申請した単位数合計	26 (本学で読み替え後 20) 単位
本学で認定された単位数合計	10 単位 (残り 10 単位は申請中)
☐ 単位認定の申請をしない 理由：	

履修科目について

交換留学先で履修した科目について、科目毎に記入してください。履修科目が多く表が足りない場合は、一番下へ表をコピーして記入してください。

①

登録授業名（現地言語で）		国際生華語（二）			
履修学期	112-2（2024 年 春学期）	単位数	3 単位	週の授業回数	2 回
授業のスタイル					
☒ 講義 ☐ チュートリアル ☐ ディスカッション ☐ プロジェクト ☐ 実験 その他（ ）					
授業内容	週 2 回、50 分 3 コマの授業。中国語を学ぶ留学生のための授業。単語や文法などを、教科書を用いて学ぶ。先生によって授業内容が異なるが、読み書きよりも、話す聞くの方に重点を置いて授業を進める先生が多い印象。授業中に扱った文法や単語を用いて会話ができるかなどの練習を行った。				
試験・課題	初級、中級、上級クラス（これらの中でももっと細分化される）に割り振るために、オリエンテーションの翌日頃にテストを受けなければいけない。授業内の試験については、単語のテストを小テストとして単元が進むごとに行うのと、中間と期末がある程度。課題は、がっつり出す人から全く出さない人までいるので、先生によって異なる。				

②

